

---

## <第4章>

# 評価テスト（結果レポートの開発）

---

本調査研究では、評価テストで測定した資質・能力について、「生徒が教科学力以外で自分にどんな強みがあるのか、特徴があるのかを把握し、今後何をすれば力が伸びるのがわかる結果レポート」をコンセプトとして開発を行った。また、数値ではなく、到達目標を設定し、それにどれだけ到達しているかを評価するようにした。特に、論述テストの「答えが1つでない問い」については、同じ高校生がどのように答えたのかを示す結果を表示し、評価テストという枠組みを超えて、思考を深める機会となるような工夫もおこなった。その結果フィードバックにより、生徒が変容し、次への学習・行動へつながることをねらいとしている。

本章では、そのようなねらいで開発された結果レポートの開発と改訂の経緯、及び平成26年度・平成27年度に活用した結果レポートのポイントと見本を掲載する。

# 1. 結果レポートの開発と改訂について

平成 25 年度に、有識者及び研究校の先生とともに結果レポートの開発を行った。評価テストで測定する力について、生徒にとって「現状がわかり、今後何をすれば力が伸びるのがわかる結果レポート」をコンセプトとし、①各力の到達段階、②能力と態度の関係、③テストごとの結果、④力ごとの現状とアドバイスを示す結果レポートを開発した。平成 26 年度には、平成 25 年度の結果レポートに対するヒアリングの結果を踏まえ、より生徒や先生に役立つ結果レポートとなるよう改訂を行った。主な改訂点は、①各力の到達段階とアドバイスを、下位項目ごとに示すことによってより詳細に表示、②論述テストについては各問の評価に対する内容を示したコメントを加えるとともに、答えが 1 つでない問いについては、同じ高校生がどのように答えたのかを示す結果を追加し、育成の観点でもより充実した結果レポートへと改訂した。平成 27 年度は、平成 26 年度の設定を生かし、同じ設計で結果レポートを作成し、学校及び生徒へのフィードバックに活用した。

# 2. 開発した生徒用「個人診断レポート」のポイント 表面

ぱっと見て、自分が  
どうい状態なのか  
知りたい

自分のどうい力かどの  
くらいあるのか、力別  
(=観点別)に知りたい

自分にフィットした、  
具体的なアドバイスが  
ほしい

できる多様な力を測るテスト

あなたの結果 ● 高校平均 ● 大学生平均 ● 社会人平均

**テストで発達された力**

【言語力】  
【コミュニケーション力】  
【社会と関わる力】

【論理的・多角的に考える力】  
【問題発見・解決する力】

**今後に向けたアドバイス**

今の状態	アドバイス
コミュニケーション力	【コミュニケーション力】あなたは、自己表現と聞き取りの両方を得意に活用できている。相手の話をよく聞き、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。さらに、相手の感情に寄り添って話を進められる。この強みを活かして、チームワークを高め、リーダーシップを発揮しよう。
社会と関わる力	あなたは、他者の感情や状況を敏感に察知し、多角的な視点から物事を捉えている。また、自分の意見や考えを適切に伝えることができる。この強みを活かして、周囲の人々と良好な関係を築き、社会的な課題を解決しよう。
論理的・多角的に考える力	【論理的・多角的に考える力】あなたは、物事を多角的に捉え、論理的に考えることができる。また、自分の意見や考えを適切に伝えることができる。この強みを活かして、課題を解決し、新しいアイデアを生み出そう。
問題発見・解決する力	【問題発見・解決する力】あなたは、問題を見つけ、解決しようとする意欲が強い。また、自分の意見や考えを適切に伝えることができる。この強みを活かして、課題を解決し、新しいアイデアを生み出そう。

**観点別評価**

観点	言語力	コミュニケーション力	社会と関わる力	論理的・多角的に考える力	問題発見・解決する力
自己探求	B	B	B	B	B
自己表現	B	B	B	B	B
自己理解	B	B	B	B	B
自己成長	B	B	B	B	B

**比較対象として、高校生・大学生・社会人結果を掲載**

**自分の結果がわかりやすいように掲載**

**強み・弱みがより詳細にわかるように観点別に掲載**

**ペーパーテストで測っている力の範囲を明確に掲載**

**高校生に伝わりやすい言葉で掲載**

**アドバイスを、より個人の結果にフィットした形で観点別に掲載**

# 裏面

論述問題を  
指導にしたい

問いごとに  
詳細なアドバイス  
がほしい

指導に生かすため、  
解答傾向を知りたい

論述問題の傾向

あなたの結果 ● 高校平均 ● 大学生平均 ● 社会人平均

**論述問題の傾向**

あなたは、論述問題の傾向として、あなたの到達段階を...  
【言語力】  
【コミュニケーション力】  
【社会と関わる力】

**今後に向けたアドバイス**

態度	今の状態	アドバイス
自己探求	B	あなたは、自分の強みや得意分野を認識し、それを活かして成長しようとしている。さらに、自分の弱みや苦手分野を克服しようとしている。この姿勢を継続し、自己成長を促そう。
自己表現	B	あなたは、自分の意見や考えを適切に伝えることができる。さらに、相手の感情に寄り添って話を進められる。この強みを活かして、チームワークを高め、リーダーシップを発揮しよう。
自己理解	B	あなたは、自分の感情や状況を敏感に察知し、多角的な視点から物事を捉えている。また、自分の意見や考えを適切に伝えることができる。この強みを活かして、周囲の人々と良好な関係を築き、社会的な課題を解決しよう。
自己成長	B	あなたは、問題を見つけ、解決しようとする意欲が強い。また、自分の意見や考えを適切に伝えることができる。この強みを活かして、課題を解決し、新しいアイデアを生み出そう。

**問いごとに自分の状態と次へのアドバイスを掲載**

**高校生全体の解答傾向を掲載**

**質問紙調査結果にも高校生・大学生・社会人との比較を掲載**

### 3. 開発した教師用「クラス別結果レポート」のポイント

1 枚目

2014年度 実社会・実生活に生きる多様な力を測るテスト クラス別結果レポート

1 各能力の総合結果

【総合結果】

2 テストで発揮された4つの力と、生徒の自己評価に基づいた態度の相関

〇〇高校 ●年▲組 教師用

3 各能力・態度のクラス別結果

能力	学年	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組
コミュニケーション力	学年	3.4	3.4	3.7	3.7	3.4					
社会と関わる力	学年	3.3	3.4	3.4	3.7	3.4					
論理的・多角的に考えようとする力	学年	3.4	3.4	3.4	3.7	3.4					
問題を発見・解決する力	学年	3.2	3.2	3.2	3.7	3.2					

比較対象として、高校生・大学生・社会人結果を掲載

強み・弱みがより詳細にわかるように観点別に掲載

色で強弱により、各クラスの強み・弱みの把握がしやすいように掲載

能力と態度のバランスを比較し、クラスの特徴を掲載

2 枚目

2014年度 実社会・実生活に生きる多様な力を測るテスト クラス別結果レポート

4 各能力・態度のレベル別人数割合 ～学年・クラス別～

能力	学年	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組
コミュニケーション力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
社会と関わる力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
論理的・多角的に考えようとする力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
問題を発見・解決する力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%

〇〇高校 ●年▲組 教師用

各能力・態度における、クラスごと、レベルごとの人数割合を示しています。クラスごとの分布の傾向などを掲載頂き、ご指導の参考にしてください。

能力	学年	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組
コミュニケーション力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
社会と関わる力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
論理的・多角的に考えようとする力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
問題を発見・解決する力	学年	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%

力ごとに、どのレベルの生徒がどれくらいの割合でいるかをクラスごとに掲載

色で強弱により、各クラスの強み・弱みの把握がしやすいように掲載

3 枚目

●●●●年度 実社会・実生活に生きる多様な力を測るテスト クラス別個人結果レポート

生徒個別の各能力・態度の結果一覧

学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年
2014	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2015	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2016	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2017	2	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2018	2	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2019	2	1	6	6	6	6	6	6	6	6	6
2020	2	1	7	7	7	7	7	7	7	7	7
2021	2	1	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2022	2	1	9	9	9	9	9	9	9	9	9
2023	2	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2024	2	1	11	11	11	11	11	11	11	11	11
2025	2	1	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2026	2	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2027	2	1	14	14	14	14	14	14	14	14	14
2028	2	1	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2029	2	1	16	16	16	16	16	16	16	16	16
2030	2	1	17	17	17	17	17	17	17	17	17
2031	2	1	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2032	2	1	19	19	19	19	19	19	19	19	19
2033	2	1	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2034	2	1	21	21	21	21	21	21	21	21	21
2035	2	1	22	22	22	22	22	22	22	22	22
2036	2	1	23	23	23	23	23	23	23	23	23
2037	2	1	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2038	2	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25
2039	2	1	26	26	26	26	26	26	26	26	26
2040	2	1	27	27	27	27	27	27	27	27	27
2041	2	1	28	28	28	28	28	28	28	28	28
2042	2	1	29	29	29	29	29	29	29	29	29
2043	2	1	30	30	30	30	30	30	30	30	30

〇〇高校 ●年▲組 教師用

能力は得意点、態度は平均値を示しています。クラスの生徒個別の一覧を示していますので、力ごとの傾向の把握、得意点・平均値の低い生徒のフォローなどにご活用ください。

個人ごとに、各力の観点別評価を掲載し、生徒一人ひとりの強み・弱みを把握

色で強弱により、各個人の強み・弱みの把握がしやすいように掲載

テストで発揮された力

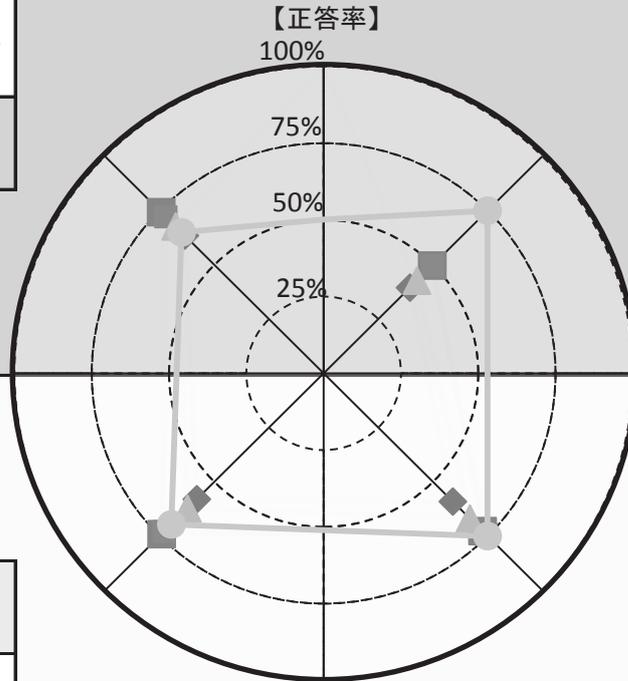
● あなたの位置 ▲ 学年平均 ◆ 高校生平均  
■ 大学生平均 ■ 社会人平均

多様な他者の考えや価値観を理解し、他者と効果的なコミュニケーションをとり、意見の対立を解消するための解決策を導き出す力のもととなる認識

コミュニケーション力  
のもととなる認識

これからの社会において、グローバルあるいはローカルな場面で起こりうる様々な問題に積極的に関わり、市民的責任を自覚して行動する力のもととなる認識

社会と関わる力  
のもととなる認識



論理的・多角的に  
考える力

必要な情報を正しく取り出し、分析・解釈・評価し、多様な観点から論理的に考察する力

問題を発見・解決する  
力

問題を発見・解決したり、新しいアイデアを生み出したりする力

観点別評価

【正答率】

				10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
コミュニケーション力	B	他者理解	B	[Progress bar to ~75%]									
		協働的問題解決	C	[Progress bar to ~40%]									
		対人コントロール方略	B	[Progress bar to ~75%]									
社会と関わる力	B	地球規模の視野と社会への参画意識	B	[Progress bar to ~75%]									
		論理的・多角的に考える力	B	[Progress bar to ~80%]									
問題を発見・解決する力	B	情報の評価・分析・解釈	A	[Progress bar to ~85%]									
		表現	B	[Progress bar to ~65%]									
		問題発見	A	[Progress bar to ~95%]									
		問題解決	B	[Progress bar to ~75%]									

# 〇〇高校 △年□組◇番 フクタケ タロウ さんへ

## 今後に向けたアドバイス

	今の状態	アドバイス
<b>コミュニケーション力 のもととなる認識</b>	<p>【他者理解】あなたは、他者の意見や行動の背景には、様々な考え方や価値観があることを理解しているようです。そして、自分とは異なる様々な立場の人の考えや気持ちを感じたり、とらえたりすることが、ある程度できています。</p> <p>【協働的問題解決】あなたは、自分と異なる意見を受け止め、その背景を理解しようとしているようです。また、意見が対立している内容を理解しようとし、自分なりの解決策を考え、提示することもできています。</p> <p>【対人コントロール方略】あなたは、自分の考えをどのように伝えたら相手がどのように受け取るのか、敬語や言葉づかい、ふるまいかなどコミュニケーションの方法によって相手の受け取り方が異なることを理解し、ある程度活用することができています。</p>	<p>今後も、多様な意見や行動の背景にある、考え方や価値観の違いを理解して、様々な立場の人の考えや気持ちを感じたり、とらえたりしていきましょう。その際、相手の考えや気持ちについて自分が推測したことがあっているかどうか、相手の立場に立って再考してみるとよいでしょう。</p> <p>自分と異なる意見を受け止め、その背景や意見の対立点を推測して自分なりの解決策を提示することはできているので、その解決策のメリット・デメリットを考え、相手にとっても納得できる解決策になっているのか、という観点で改めて考えてみるとよいでしょう。</p> <p>様々な人とコミュニケーションをとる時に、伝え方によって相手に与える印象が異なることを理解し、効果的な伝え方がある程度活用できているので、今後も、相手の気持ちを踏まえた上で、自分の気持ちを伝えられるように意識していくとよいでしょう。</p>
<b>社会と関わる力 のもととなる認識</b>	<p>あなたは、社会の諸問題を地球規模でとらえ、自分の行動が社会に影響があることを認識しています。経済や文化背景などの人間中心的な立場だけでなく、自然・生態系の観点からも考えることができています。</p>	<p>今後も、社会の諸問題を考える際、人間中心的な立場、自然環境・生態系の立場の両観点で考え、解決策も考えていくとよいでしょう。また、1つの諸問題をきっかけに関連する別の諸問題へ考えを広げられるとよりよいでしょう。</p>
<b>論理的・多角的に 考える力</b>	<p>【情報の評価・分析・解釈】あなたは、情報的確かかつ十分に分析・評価してから利用しています。複雑な文章や現象全体の構造を理解・把握できているなど、物事の論理的な関係を理解することができています。また、適切かつ十分吟味して、根拠と主張を結び付けることができています。</p> <p>【表現】あなたは、適切かつ整理された根拠をもとに自分の意見を一貫性をもって述べる事ができています。また、物事の論理的な関係を理解した上で、ある程度自分で論理を組み立てながら説明することができています。</p>	<p>情報を評価・分析・解釈する力は現段階では身につけているので、これからも、まず、情報を多角的な観点で、かつ、注意深く活用していきましょう。さらに、未知のことに対して、論理的な関係を読み取った上で、根拠とすでにわかっている事柄をもとにして、論理的に推測する力を養っていきましょう。</p> <p>論理的な表現は、身につけてきています。これからも、より説得力のある説明ができるように、自分の意見を明確に述べたり、根拠と主張を結び付けるなどして、その力を養っていきましょう。</p>
<b>問題を発見・解決する 力</b>	<p>【問題発見】あなたは、問題について多角的な視点で考え、潜在的な情報を探し出し、適切な根拠をもとに批判的に分析することで、的確に本質をとらえることができています。また、ある主張を支えている考えをとらえたり、物事の根本的な原因を明らかにすることができています。</p> <p>【問題解決】あなたは、与えられた問題を解決するために、複数の視点で考えて探し出した根拠をもとに、ある程度とらえることができた本質から、解決策を導き出すことができています。また、複数の解決策を文脈と根拠にもとづいて検証した上で、その中からよりよい解決策を示すことができています。</p>	<p>今後も、問題について多角的な視点で考え、的確に本質をとらえるようにしていきましょう。問題の根本的な原因を明らかにしようとするとき、原因と結果の関係につながりがあるか確認するという観点を深め、因果関係を考える力をつけていくとよいでしょう。</p> <p>今後も、複数の視点で考え出した根拠をもとに、問題の本質をよりの確にとらえて、解決法を示していけるとよいでしょう。また、より適切な根拠をもとに優先順位などを考えることを意識することで、説得力をもってよりよい解決法が示せるようになるでしょう。</p>

## 論述問題の結果

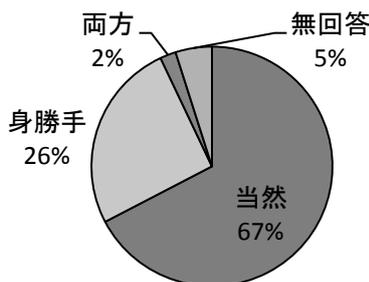
次の表は、論述問題の問ごとの、あなたの到達段階を示しています。

- 論理的思考力
- 社会と関わる力

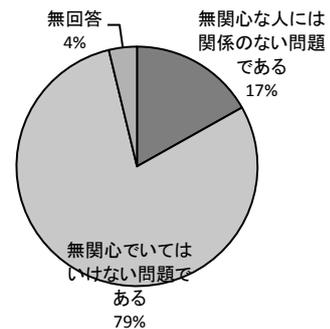
設問	到達段階	採点結果とアドバイス
問2	■	母のどのような言動が無責任ととらえられるのかについては記述できています。ただし、その理由がない、または説明不足です。意見につながる理由を意識して、なぜその言動が無責任だと考えられるのかを明確に記述するとよりよいでしょう。
問3	■	子のどのような考えが無責任あるいは勝手ととらえられるのかについては記述できています。ただし、その理由がない、または説明不足です。意見につながる理由を意識して、なぜその言動が無責任あるいは勝手と考えられるのかを明確に記述するとよりよいでしょう。
問4	■	店主の主張について、自分の意見を理由を合わせて述べていることができます。逆の立場に立った見方や理解があると、さらによくなります。意見を述べる時は、自分とは異なる立場についても意識し、その立場の人への配慮や、その立場の人が納得できるような伝え方を意識するとよりよいでしょう。
	■	店主の主張について考える時、ニホンウナギの絶滅ということについても考えることができます。ただし、経済や文化的な背景など、あくまで人間活動を中心とした考えに限定されています。私たちの日々の生活と環境問題は密接に関連していることを意識し、人間の生活だけでなく自然そのものの大切さも同時に配慮できるとよりよいでしょう。
問5	■	ニホンウナギが絶滅するかどうかについて、無関心な人を認めない立場をとっています。さらに、人間中心の考え方を超えて、絶滅危惧種の保護に固有の価値があることを理解し、生態系全体や地球規模にまで視野を広げて考えることができます。
問7	■	ニホンウナギの絶滅を防ぐために何ができるかを、人間中心の視点でなく、自然や環境からの視点で考えることができます。今後もそうした態度で世の中の現象をとらえましょう。その際、この問題は他にも影響していないかなど、さらに考えの幅を広げられるとよりよいでしょう。
問8	■	ニホンウナギの絶滅の問題から、他の問題についても考えを広げ、さらに知りたいということは、目の前の問題だけでなく他のさまざまな問題についても、自然や環境の視点からもとらえることができ、解決に向けて動く認識があるようです。今後もそうした態度で世の中の現象をとらえましょう。

以下のグラフは、調査に協力してくれた高校生の回答傾向を示しています。自分の答案と比べたり、周りの人との意見交換に活用しましょう。

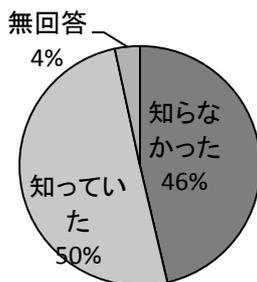
問4 店主の主張は当然か身勝手か



問5 無関心な人へどう答えるか



問6 うなぎの問題をテスト前から知っていたかどうか



## 質問紙調査の結果

以下の表は、アンケート調査結果をもとにした、あなたの態度を示しています。

各態度に対する自分のバランスや、高校生、大学生、社会人の平均、そして今後に向けたアドバイスを参考に、日々の生活に役立ててください。

■ あなたの結果 ■ 学年平均 ■ 高校生平均 ■ 大学生平均 ■ 社会人平均

態度	今の状態				アドバイス
コミュニケーション態度					あなたは、人とのやりとりについて、人の意見を聴いて相手の気持ちを理解しようとしていたり、自分の気持ちや考えを相手に伝えることをある程度、意識することができているようです。これは、あなたと同じ世代の人の平均よりも、意識のレベルが比較的高い結果となっています。今後も、人の意見を聴いて相手の気持ちを理解しようとしていたり、自分の気持ちや考えを相手に伝えることができるように意識していきましょう。相手と自分の両者のことを考えて行動していくことが、よりよい解決につながるので、行動に移していけるようにしていきましょう。
社会と関わる態度					あなたは、様々な民族や文化、身近で起きていることについて、あまり関心を持っていないようです。これは、あなたと同じ世代の人の平均よりも意識のレベルが低い結果となっています。様々な民族や文化、身近で起きていることなどについて考えることは、面倒だと思ふこともあると思いますが、何か一つ自分が興味を持てることについて、ニュースを見て考えることから始めてみましょう。考えを少しずつ巡らせることで、いろいろなことがつながっていることに気づき、興味が広がったり深まったりしていくでしょう。
論理的思考態度					あなたは、いろいろなことに取り組む中で、根拠にもとづいて考えようとしていたり、行動に移そうとすることを意識できているようです。これは、あなたと同じ世代の人の平均に、意識のレベルが近い結果となっています。根拠にもとづいて考えたり、行動に移していくことを通して、様々なことに対して、少しずつ興味を広げていきましょう。まずは、身近な人にきちんと筋道を立てて話ができるようになるとういでしょう。
問題解決態度					あなたは、与えられた課題や疑問に思ったことに対して、具体的に何に取り組んでいったらいいか考えて、行動に移すことがなかなかできていない様子が見えがえ。これは、あなたと同じ世代の人の平均に、意識のレベルが近い結果となっています。与えられた課題や疑問に対して、解決方法を考えるためには、まず身近な友達などに質問してみたり、身近なもの(本や資料、インターネットなど)で調べてみるとよいでしょう。そうすれば、少しずつ解決方法が見つけれられていくでしょう。
自己理解・自己管理					あなたは、自分自身に対する理解や肯定的な評価がある程度できています。これは、あなたと同じ世代の人の平均よりも、意識のレベルが比較的高い結果となっています。自分自身のことについて、自分がどういった人間か、自分が自分のことをどう思っているのかを分かっているということは、自己管理をしていく上で大切なことです。今後も、より自分を肯定的にとらえることができていくように、自分自身をより深く理解できるようにしていきましょう。
主体的な取り組み					あなたは、勉強することに対して、積極的な気持ちで取り組む意欲を持っているようです。これは、あなたと同じ世代の人の平均よりも、意識のレベルが比較的高い結果となっています。今後も、勉強することに対して、主体的に取り組んでいくことができるようにしていきましょう。その主体的に取り組む前向きな気持ちが、学力向上や自分自身の成長へもつながるでしょう。
キャリア設計					あなたは、進路についてとても前向きに考えることができている、自分の職業観に対する具体的な理解や行動もできているようです。これは、あなたと同じ世代の人の平均よりも、意識や理解・行動のレベルが高い結果となっています。今後も、進路に対して考えを深めたり行動することで、自分の可能性を広げていけるようにしましょう。その考えや行動を、周りの人へも、共有できるようになるとよいでしょう。

## 1 各能力の総合結果

「実社会・実生活に生きる多様な力を測るテスト」について、テストで発揮された4つの力を示しています。社会人、大学生、高校生、学年の平均は、ご指導する際の参考指標としてご活用ください。

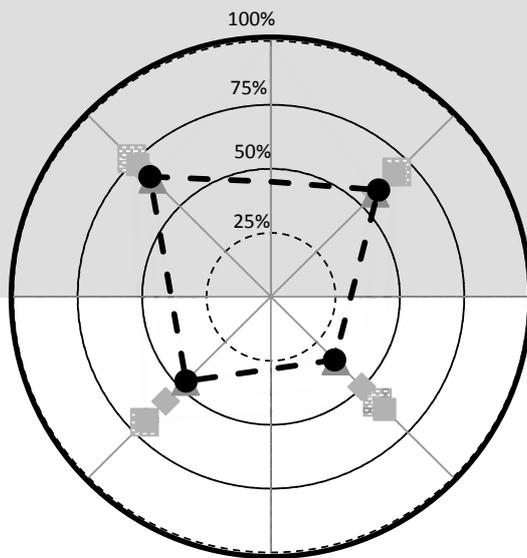
### 総合結果

● クラス平均 ▲ 学年平均 ◆ 高校生平均 ■ 大学生平均 ■ 社会人平均

多様な他者の考えや価値観を理解し、他者と効果的なコミュニケーションをとり、意見の対立を解消するための解決策を導き出す力のもととなる認識

**コミュニケーション力**  
のもととなる認識

【正答率】



これからの社会において、グローバルあるいはローカルな場面で起こりうる様々な問題に積極的にに関わり、市民的責任を自覚して行動する力のもととなる認識

**社会と関わる力**  
のもととなる認識

**論理的・多角的に考える力**

必要な情報を正しく取り出し、分析・解釈・評価し、多様な観点から論理的に考察する力

**問題を発見・解決する力**

問題を発見・解決したり、新しいアイデアを生み出したりする力

## 2 テストで発揮された4つの力と、生徒の自己評価に基づいた態度の相関

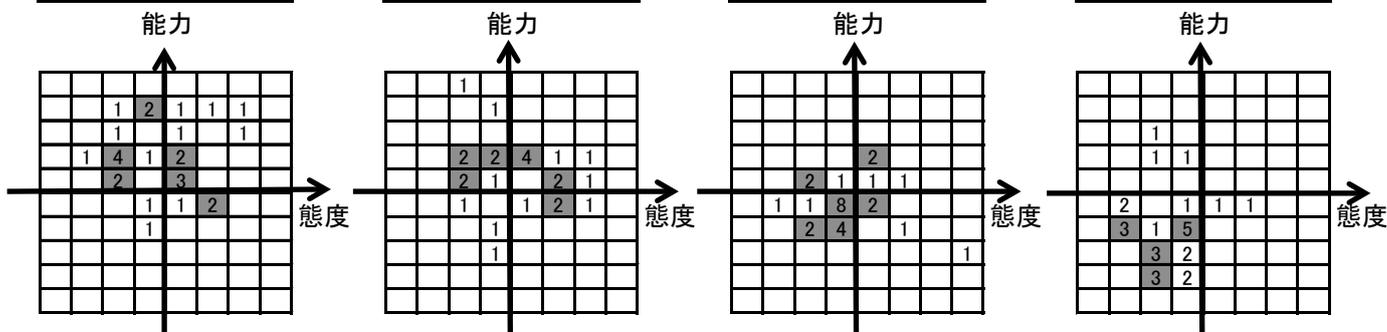
4つの力について、生徒の自己評価との比較を示しています。次の声かけ例を参考にしてください。  
 【左上】態度を改めることで、もっと能力が伸びる可能性がある。  
 【右上】能力・態度ともに高いのでこのまま頑張ろう。  
 【左下】まずは態度を改めよう。  
 【右下】態度はよいので、これから能力が伸びる可能性がある。

コミュニケーション力のもと

社会と関わる力のもと

論理的思考力

問題解決力



**3** 各能力・態度のクラス別結果

能力	観点詳細	学年	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組
コミュニケーション力 のもととなる認識	コミュニケーション力のもととなる認識	64.9	66.4	61.3	66.2	65.7						
	他者理解	74.0	76.9	71.9	75.9	71.4						
	協働的問題解決	56.7	58.3	51.9	57.9	58.8						
	対人コントロール方略	76.9	59.9	76.9	78.0	63.7						
社会と関わる力 のもととなる認識	社会と関わる力のもととなる認識	57.2	48.7	59.7	51.9	80.5						
	地球規模の視野と社会への参画意識	57.2	59.0	59.7	51.9	58.3						
論理的・多角的に 考える力	論理的・多角的に考える力	46.9	46.6	45.7	46.8	48.7						
	情報の評価・分析・解釈	59.0	46.2	42.7	78.0	48.2						
	表現	47.0	46.7	51.9	59.7	48.5						
問題を発見・解決する力	問題を発見・解決する力	35.6	34.9	30.0	63.4	40.5						
	問題発見	61.4	56.4	63.4	80.5	63.1						
	問題解決	28.4	28.9	21.0	30.3	34.0						

態度	学年	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組
コミュニケーション態度	3.4	3.4	3.5	3.2	3.4						
社会と関わる態度	3.3	3.4	3.4	3.3	3.4						
論理的思考態度	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6						
問題解決態度	3.2	3.0	3.3	3.5	3.3						
自己理解・自己管理・自尊心	3.1	3.0	3.1	3.0	3.2						
主体的な取り組み	3.4	3.0	3.4	3.4	3.6						
キャリア設計	3.5	3.6	3.6	3.3	3.5						



各能力・態度における、クラスごと、レベルごとの人数割合を示しています。クラスごとの分布の傾向などをご確認頂き、ご指導の参考にしてください。

態度	力の定義	レベル	学年	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組
コミュニケーション態度	多様な他者の考えや価値観を理解し、他者と効果的なコミュニケーションをとり、意見の対立を解消するための解決策を導き出そうとする態度や方法	a	9%	7%	16%	7%	4%						
		b	36%	41%	42%	18%	44%						
		c	46%	48%	29%	68%	41%						
		d	9%	4%	13%	7%	11%						
社会と関わる態度	これからの社会において、グローバルあるいはローカルな場面で起こりうる様々な問題に積極的に関わり、市民的責任を自覚して行動しようとする態度	a	12%	15%	16%	7%	7%						
		b	42%	41%	42%	39%	48%						
		c	41%	44%	39%	50%	30%						
		d	5%	0%	3%	4%	15%						
論理的思考態度	必要な情報を正しく取り出し、分析・解釈・評価し、多様な観点から論理的・批判的に考察しようとする態度	a	10%	4%	13%	11%	11%						
		b	32%	26%	35%	21%	44%						
		c	50%	67%	39%	64%	33%						
		d	8%	4%	13%	4%	11%						
問題解決態度	問題を発見・解決したり、新しいアイデアを生み出そうとする態度や方法	a	6%	0%	6%	4%	15%						
		b	18%	7%	29%	14%	19%						
		c	65%	74%	61%	75%	52%						
		d	11%	19%	3%	7%	15%						
自己理解・自尊心	今後の自分自身の可能性を含めて自ら肯定的に理解するとともに、自らの思考や感情を律し今後の成長のために進んで学ぼうとする態度	a	8%	0%	10%	4%	19%						
		b	28%	41%	32%	11%	30%						
		c	53%	48%	45%	82%	37%						
		d	11%	11%	13%	4%	15%						
主体的取り組み	今後の自分自身の可能性を含めて自ら意欲や関心をもって取り組む態度	a	14%	4%	13%	14%	26%						
		b	26%	19%	32%	21%	30%						
		c	49%	63%	42%	57%	33%						
		d	12%	15%	13%	7%	11%						
キャリア設計	自分の生き方を考え、主体的に選択できるキャリア設計の態度	a	11%	15%	16%	0%	11%						
		b	35%	33%	39%	29%	37%						
		c	46%	41%	39%	68%	37%						
		d	9%	11%	6%	4%	15%						





=====

**<MEMO>**

=====